

平成 29 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社大森屋
 代表者名 代表取締役社長 稲野 達郎
 (JASDAQ・コード2917)
 問合せ先 経理部長 中田 勝
 電話06-6464-1198

通期連結業績予想値と実績値との差異及び特別損失発生に関するお知らせ

平成 29 年 9 月期（平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）の通期連結業績予想値（平成 28 年 11 月 11 日付公表）と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。
 また、平成 29 年 9 月期において、下記の特別損失を計上しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 9 月期連結業績予想と実績値との差異

(平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	16,620	240	250	150	29.57
実績値 (B)	16,672	205	214	90	17.81
増減額 (B-A)	52	△34	△35	△59	—
増 減 率 (%)	0.3	△14.6	△14.3	△39.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 9 月期)	16,539	170	183	114	22.61

差異の理由

売上高は前回予想を上回りましたが、利益面においては、主要原材料である原料海苔の仕入価格高騰によるコスト高により営業利益、経常利益が前回予想を若干下回りました。また、下記の特別損失（固定資産除却損）の計上により親会社株主に帰属する当期純利益が予想より下回りました。

2. 特別損失（固定資産除却損）の発生について

当社関西物流センター（兵庫県西宮市）の倉庫の一部を用途変更に伴い、解体することとなりました。当該倉庫の解体にあたり、建物等の解体撤去費用 29 百万円及び残存簿価の除却損 15 百万円を特別損失に計上いたしました。

また、個別決算において、連結子会社大森屋（上海）貿易有限公司の財政状態及び経営成績を勘案した結果、減損処理による関係会社出資金評価損として 8 百万円、同社への長期貸付金に対する貸倒引当金繰入額 27 百万円を特別損失として計上することになりました。なお、個別決算で計上されるこの特別損失は、連結決算では消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

以 上